

# 基金情報

No. 61

平成19年2月号

発行：東日本硝子業厚生年金基金  
〒130-0026 東京都墨田区両国4丁目36番6号 ガラス会館3階  
Tel 03-3633-6445 FAX 03-3633-7125  
ホームページ <http://www.glskkn.com>

## 平成18年度・主要事業概況

事項	1月末数	対前月増減数	事項	1月末数(累計)	
事業所数(件)	246	0	年金掛金	調定額(円) 1,496,557,268	
加入員数(人)	男子	5,344	-9	収納額(円)	1,486,612,802
	女子	2,266	-5	収納率	99.34%
	計	7,610	-14	事務費掛金調定額(円)	64,774,572
平均標準給与月額(円)	男子	345,771	-634	資産運用	信託資産額(時価) 365億3,522万円
	女子	226,739	-228		修正総合利回り 5.77%
	計	310,327	-501		ベンチマーク差 0.84%
受給者数(人)	5,640	-23	慶弔金の支給件数・金額	71件124万円	
平均年金額(円)	465,347	2,320	年金相談件数	792件	

## 代議員会・開催される

平成19年2月19日に第88回代議員会が開催され、平成19年度予算案と規約・規程の変更案の審議が行われました。

議事事項は、数点のご質問・ご意見がありました。満場一致で議決されています。

なお、規約・規程の変更案については、法律改正事項の施行に伴う内容のほか、任意脱退に関する内容となっていました。

平成19年度予算は、国の予算編成方針に基づき積算されていますが、年金経理では、特別掛金の段階的引上げによる掛金収入増と年金ALMの実施経費を、業務経理では、財政再計算期にあたり、代議員会・理事会の開催回数増の経費などが組込まれています。

なお、福祉施設会計においては、保養所の廃止により収支が大きく減少となっています。

## 予算総則 単位:千円

事項	平成19年度推計額	平成18年度決算見込額	
年金経理			
収入	4,291,000	4,162,000	
支出	3,286,000	2,955,000	
業務経理			
業務会計			
収入	89,081	86,567	
支出	85,054	72,661	
福祉施設会計			
収入	501	380,488	
支出	14,438	198,808	
限度額			
業務会計(事務費)	84,826	78,468	
福祉施設会計(事務費)	11,386	242,761	
繰入金			
	年金経理から業務会計	0	0
	年金経理から福祉施設会計	0	0
	業務会計から福祉施設会計	0	10,000
借入金			
	業務会計(短期)	0	0
	福祉施設会計(短期)	0	0
	福祉施設会計(長期)	0	0

## 3月の事業予定

30日 平成19年度予算書の提出

### 【お願い】

当「基金情報」を加入員の方が閲覧いただけるようご配慮をお願いいたします

### ホームページでもご覧いただけます

当「基金情報」をホームページに掲載しています  
創刊号から直近号までご覧いただけます  
加入員の方も職場や家庭でぜひお読みください  
<http://www.glskkn.com>

## 〈経理別・平成19年度予定損益計算書〉

### 1. 年金経理(経常収支)

単位:百万円

費用勘定	推計額	収益勘定	推計額
給付費	2,650	掛金等収入	2,121
移換金	450	負担金	190
拠出金	2	運用収益	1,979
運用報酬	146		
業務委託費	30		
コンサルティング料	7		
指定年金数理人費	1		
計	3,286	計	4,290

### 2. 業務経理業務会計

単位:千円

費用勘定	推計額	収益勘定	推計額
事務費	67,212	掛金収入	88,381
代議員会費	2,343	雑収入	700
機械処理経費	7,075		
繰入金	228		
雑支出	8,196		
当年度剰余金	4,027		
計	89,081	計	89,081

### 3. 業務経理福祉施設会計

単位:千円

費用勘定	推計額	収益勘定	推計額
事務費	7,586	受入金	1
福祉施設費	2,700	雑収入	500
雑支出	4,152	不足金	13,937
計	14,438	計	14,438

## 法律改正事項は国準拠方針が議決

規約・規程の変更については、法律改正事項に伴う変更は細部の取扱いが未定のため、変更方針と実行時における理事長専決処理につき提案・議決されました。(内容:No59、60参照)

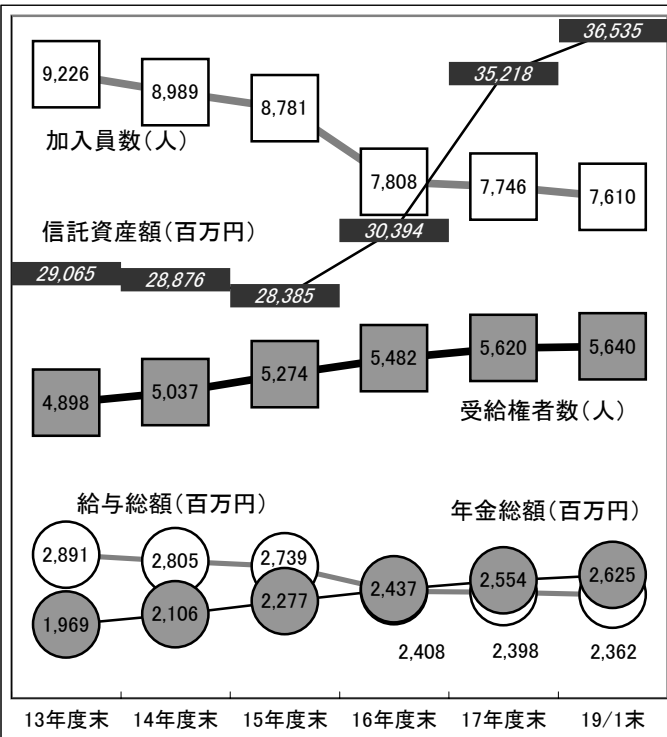
任意脱退については、1事業所(加入員1人)の申請が承認・議決されています。

## 理事会(2/19) 総選挙執行への扱い等を決定

2月19日・代議員会に先立ち理議会が開催され、代議員会への提出議案の審議のほか、任期満了となる代議員・理事などの選挙にあたり、選定代議員の選定は委任方式によることが決定されました。

また、財政再計算の過程の中で、掛金を抑制した計算シミュレーションの実施についても承認されています。

## 主要事業の推移



## 基金関連・動向と状況

### 国の年金額改定据置き

国の厚生年金や老齢基礎年金は、消費者物価や賃金の変動率によって改定されることとなっていますが、平成19年度においては対前年度の変動率の状況からして改定されないこととなりました。

このため、据置かれる年金額(月額)は、標準的な夫婦二人分の厚生年金で232,592円(老齢基礎年金を含む)、満額の老齢基礎年金で66,008円となるようです。

### 基礎年金国庫負担割合引上げ法案提出

2月9日・厚労省は、「国民年金法等の一部を改正する法律案」を今通常国会に提出しました。

この法律案は、平成19年度の基礎年金の国庫負担割合を引上げることとしたもので、引上げ率は約36.5%となっています。

### パート厚年適用問題に流通業などが反発

厚労省の年金部会は、ワーキンググループを設置し、今年の1月から2月にかけて、パート労働者の厚生年金適用問題について業界団体や労働組合、有識者などからヒヤリング調査を実施しました。

労働組合は、不安定な雇用状況や社会保障などの面から企業に雇用される人は全員が原則として適用されるべきと主張しているようですが、流通業界などにおいては反対意見が依然根強いようです。

流通業界などの反対理由は、パート労働者が適用を望んでいない点が根本的理由であるようです。

- ・老後の資金より当面の生活費がほしい
- ・適用にならないよう就業調整をしている

適用となれば、パートの就業調整は進み、企業は人材の確保が困難となり、顧客サービスの低下にもつながるとの不安視もあるようです。

また、法定福利費が膨らむことも業界団体の抵抗感の根拠どころでもあるようです。

厚労省は、年金部会の報告を基に通常国会に法案を提出する方針のようですが、政府・与党では、パート労働者の実態を踏まえた対応や、中小企業に対する激変緩和、経過措置といった妥協案なども考えられているようです。

## 基金用語

## 【年金ALM】

ALMは経営管理手法で、経済・金融環境の予測を前提としたうえで、資産(運用サイド)と負債(調達サイド)の両面を総合的に管理し、適正な流動性を確保したうえで収益の極大化とリスクの極小化を図ろうとするものです。

年金制度(年金ALM)においては、給付債務の発生状況の的確な把握、適正な流動性の確保と許容リスクの設定、その条件下での運用収益の極大化、政策アセットミックスの策定など、年金数理と資産運用の連携により、ALM手法の持つ本来の機能を発揮することを期待するものです。

## 設立事業所の異動(規約変更関係等)・1月処理分

異動区分	事業所名	異動内容(新)	適用年月日
名称変更	旭ファインマテリアルズ(株)	AGCエレクトロニクス(株)基板加工部	H19.1.1
事業主変更	(株)山本光学研究所	山本 徹	H19.1.29
事業主変更	豊和産業(株)	小畑 順一	H18.12.16
事業主変更	(株)コーヨーサイクリング	杉本 正子	H18.9.30

## 年金受給者数・前月比減・・・!

平成19年1月末における年金受給者数は、対前月比-23人となっています(一面・右上「平成18年度・主要事業概況」参照)が、これは、1月における失権処理数が新規裁定者を上回ったことによるものです。

1月における失権処理数には、現況届の未提出者(支給差止者)について、市区町村へ生存確認の依頼により死亡が確認された件数が多数含まれており、提出された失権届と合わせ新規裁定件数を上回ることとなりました。

## 年金資産の運用状況 修正総合利回り

<平成18年度>

